

2018 年度

ロシア留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済サービス大学

実習期間：8月28日（火）～12月27日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017063
佐々木愛莉

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	3
	4 - 1 研修のスケジュール	3
	4 - 2 研修の詳細	7
5	所感	
6	おわりに	
	謝辞	

付録

	研修日誌	
--	------	--

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済サービス大学

研修期間：平成 30 年 8 月 28 日（火）～平成 30 年 12 月 27 日（木）

2 研修先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学（VSUES）は 1967 年に極東技術研究所（FETI）として設立された。その後 1995 年に、その名前は極東国家技術研究所（FESTI）に変更され、その後すぐに、1996 年に、大学はその地位を上げ、ウラジオストク国立経済サービス大学に改名された。

ウラジオストク国立経済サービス大学は、実用的・実践的な学習アプローチで創造的な教育を提供することで、ロシア極東の大手ビジネス大学へと変化を遂げた。VSUES のプログラムは経済学とビジネス、管理、観光デザイン、工学と国際研究の分野に重点を置いている。

1 万 3 千人の学生が通う大学の特徴は、様々な分野ごとに専門的なスキルの習得を目指し、地域社会の経済的発展に最適な人材を育成していることだ。

(2)大学で行われている教育について

入学時学力テストによって、レベル別に学生 10 人程度で 1 クラスに分けられる。少数人のクラスにすることや、留学生のクラス一つ一つに担当の先生が一人つくなど、留学生にとって、とても学びやすい環境が整えられている。

3 研修目的

一番の目的はロシア語の上達、具体的には日常会話ができる程度になりたいと考えていた。そのためには日常のあらゆる場面でネイティブなロシア語が飛び交う場所に行くのがいいと考えた。また、親元を離れて生活することで自立性を高め、効率的に物事をかたづけられるように

それだけでなく、外国人との共同生活でルームメイトと上手くやる

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	(曜日)	午前	午後
8	28	(火)		到着、入寮、買い出し

	29	(水)	学生証発行手続き	
	30	(木)	健康診断	市内観光
	31	(金)	入学テスト	
9	1	(土)	市内観光	
	2	(日)	ルースキー島へ	
	3	(月)	授業開始(日本人だけのクラス)	授業
	4	(火)	授業	授業
	5	(水)	授業	
	6	(木)	授業	授業
			ルームメイト到着、共同生活開始	
	7	(金)	授業	授業 ルームメイト等と親睦会
	10	(月)	授業(グループ別授業開始)	授業
	11	(火)	授業	授業
	12	(水)	授業	
	13	(木)	授業(韓国人が授業に合流)	授業
	14	(金)	授業	授業
	16	(日)	アイスフェスティバル	
	17	(月)	授業	授業
	18	(火)	授業	授業
	19	(水)	授業	
	20	(木)	授業	授業
	21	(金)	授業	授業 会話クラブ
	23	(日)	ハイキング・バーベキュー	
	24	(月)	授業	授業
	25	(火)	授業	授業
	26	(水)	授業	
	27	(木)	授業	美術館
	28	(金)	授業	授業
	30	(日)	虎の日 行進に参加	

10	1	(月)	授業	授業	
	2	(火)	授業	授業	
	3	(水)	授業		
	4	(木)	授業	授業	
	5	(金)	先生の日 ピクニック		
	6	(土)	サーカス		
	8	(月)	授業	授業	
	9	(火)	授業	授業	
	10	(水)	授業		
	11	(木)	授業	授業 停電	
	12	(金)	スポーツ大会		
	13	(土)	スポーツ大会		
	14	(日)	スポーツ大会 ピクニック・庭園		
	15	(月)	授業	授業	
	16	(火)	授業	授業	
	17	(水)	授業		
	18	(木)	授業	授業	
	19	(金)	授業	授業	
	20	(土)	水族館		
	22	(月)	授業	授業	
	23	(火)	授業	授業	
	24	(水)	授業		
	25	(木)	授業	授業	
	26	(金)	授業	授業	
	28	(日)		オペラ鑑賞	
	29	(月)	授業	地理休講	
	30	(火)	授業	授業	
	31	(水)	授業	動物園	
	11	1	(木)	授業	授業

	2	(金)	授業	授業
	3	(土)		バレエ鑑賞
	5	(月)	授業なし	授業なし
	6	(火)	授業	授業
	7	(水)	授業	
	8	(木)	授業	授業
	9	(金)	授業	授業 朗読コンテスト
	12	(月)	授業	授業
	13	(火)	授業	授業
	14	(水)	授業	
	15	(木)	授業	発表会
	16	(金)	授業	授業
	17	(土)	日本文化フェスティバル	
	19	(月)	授業	授業
	20	(火)	授業	授業
	21	(水)	授業	
	22	(木)	授業	授業
	23	(金)	授業	授業
	24	(土)		スケート
	26	(月)	授業	授業
	27	(火)	授業	授業
	28	(水)	授業	
	29	(木)	授業	授業
	30	(金)	授業	授業
12	3	(月)	授業	授業
	4	(火)	授業	授業
	5	(水)	授業	
	6	(木)	授業	授業 パスポート返却
	7	(金)	授業	授業
	10	(月)	授業	授業

11	(火)	授業	授業
12	(水)	授業 2限 文章読解テスト	
13	(木)	授業 2限 会話テスト	3限 音楽テスト
14	(金)	授業	3限 歴史テスト 会話クラブ
17	(月)	授業 1限 文法・リスニングテスト	3限 地理テスト
18	(火)	授業 2限 ライティングテスト	授業 3限 美術テスト
19	(水)	授業	
20	(木)	授業	お茶会
21	(金)	授業	隣町へ
22	(土)	バレエ鑑賞	
24	(月)	授業	授業
25	(火)	授業	成績授与式
26	(水)	帰国準備	
27	(木)	退寮	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)健康診断

大学内にある施設でレントゲン検査や心音検査などを行った。

ii)市内観光

先生、学生ボランティアとともに街の中心部に行き散策をした。

iii)入学テスト

コンピューターでクラス分けのプレースメントテストを受けた。解答はすべて選択式で主に格を問う文法問題であった。90分の選択問題ののち、30分程度リスニング問題もあった。

iv)授業

午前中の授業はロシア語の授業で、会話、文章読解、文法、リスニング、ライティングの5つである。午後の授業はロシア文化の授業で、地理、歴史、美術、音楽の4つである。午前は韓国の留学生とともに授業を受けたが、午後はほとんど日本人留学生のみで授業を受けた。月曜日から金曜日まで毎日授業があり、水曜日以外は毎日3時限分の授業を受けた。※授業の時間割については付録にて詳細を記載する。

v)アイスフェスティバル

街の中心部にある広場で開催された。様々な店がアイスを売っているだけでなく、ステージがあったり、着ぐるみを着ている人がいたり、ネイルをしてくれるお店もあるなど大人も子どもも楽しめるイベントであった。

vi)会話クラブ

街の中心部にあるお店で毎週金曜日に開かれる。ロシアに留学に来ている日本人や日本語を学んでいるロシア人が互いに食事などをしながらロシア語、日本語で会話をし勉強する目的で集まっている。

vii)ハイキング・バーベキュー

日本語を学んでいるロシアの学生とともにハイキングに行き、そこでバーベキューをした。バスで40分程度移動したのち、丘を登った。ほかにも何組か登っている人がいて、山頂で開かれた景色を見ながら休憩している人もいた。

viii)美術館

この週は美術と音楽の時間を交換し、韓国の留学生とともに美術館に行った。美術館のガイドの人が全体を回りながら作品の説明をしてくれたのち、個人で自由にゆっくり見るといような流れだった。フラッシュを使わなければ美術館内の写真も撮ることができた。

ix)虎の日

虎の保護活動を広めるための祭り。虎のペイントや仮装、虎の保護を訴える横断幕を持つなどして街の中心部にある大通りを中央広場まで歩くイベント。学生だけでなく、警察官等も参加し、テレビでも取り上げられた。

x)先生の日

この日は授業がなく、海岸近くの公園まで電車に乗っていくという校外学習のようなものだった。留学生がクラスごとに与えられた課題をみんなで協力してクリアしていくゲーム形式だった。与えられた文字から始まる単語をより多く書き出せ、というのもあったが、

中には、ダンスを覚えて踊る、協力してボールを早く運ぶなどの課題もあった。クラスごとの課題をクリアしたら、留学生全員で輪になって、ゲームをした。昼食持参で、レクリエーションが終わった後も、留学生同士で仲を深めることができた。

x)サーカス

先生が連れて行ってくれた。日本のものとは少し異なる部分もあり、面白かった。観客参加型のものもあった。

xi)スポーツ大会

VSUES のほかにも 2 大学の留学生同士がスポーツで競い合った。水泳、卓球、サッカー、バスケットなどの種目があり金曜日から 3 日間通して行われた。

xii)ピクニック・庭園

日本語を学んでいるロシアの学生とともに、庭園に紅葉を見に行った。

xiii)水族館

ルースキー島に位置し、ロシア国内最大の水族館。海の歴史を時代順に進化していき、博物館のようでもあり、植物園もある。イルカショーは 1 日に 2 回行われており、水族館の周りにも巨大なオブジェがあり、館内にはロシア語、英語、中国語、日本語対応の案内インフォメーションパネルもあった。

xx)オペラ・バレエ鑑賞

先生がチケットの手配をしてくださりマリンスキー劇場にて鑑賞した。オペラ「カルメン」、バレエ「海賊」、「くるみ割り人形」を鑑賞した。

xxi)朗読コンテスト

留学生がロシアの昔話、童話を暗記し発表した。2~3 人組や、クラス全員で発表し、衣装を用意したり、音楽を流す演出をした学生もいた。審査員によって選ばれた学生は表彰され、賞状とお菓子をもらっていた。

xxii)成績授与式

同じクラスで勉強をした韓国人の留学生とともに、先生からロシアの占いのようなものと遊びを教わった。その後、一人一人成績を授与され、全員で記念撮影をした。

5 当初目的・目標への達成度

ロシア留学中は授業・生活とともにとっても充実した時間を送れたと思う。

6 反省・課題

授業のペースに慣れるまで、時間がかかった。毎日、授業は3時に終わって時間はたくさんあるはずなのに、課題、復習、予習をして、気が付くと夜になっていることもあった。また、勉強だけでなく炊事、洗濯も自分でやらなければならないため、時間を上手に使わなければならなかった。共同で使用するものも多かったため、ほかの人が使用しているときは使えないことが何度かあった。一つ予定が狂うと全部の時間が押して寝る時間が遅くなる、なんてこともあった。これらのことを踏まえて、行動するべきだった。

謝辞

今回、ウラジオストク国立経済サービス大学国際学部にて懇切丁寧な指導をしてくださったユーリア先生、マリーナ先生、スベトラナ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の留学担当で2018年度前期の授業、留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、神長英輔先生、アレクサンドル・プラーソル先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、今回の留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月28日 火曜日 午前
出発 0731 燕三条駅
担当 神長英輔先生
内容 ・燕三条駅から上野駅まで新幹線で移動 ・成田空港まで成田エクスプレスで移動 ・成田空港で神長先生と会う ・成田空港からウラジオストクまで飛行機で移動 ・ウラジオストクで入国審査 ・空港から大学寮までバスで移動

移動の所感

飛行機で2時間の移動はあっという間であった。入国審査の時には不安そうな顔をしていた皆も、迎えてくれたプラーソル先生の顔を見て安堵の表情をしていた。

8月29日 水曜日 午後

オリエンテーション
担当 ユーリア先生
研修内容 ・オリエンテーション ・学生寮の規則 ・重要な連絡先について ・今後の予定について

オリエンテーションの内容

ユーリア先生からは、学生寮やその周辺での規則として、慣れるまでは独り歩きをしないこと、夜は外出を控えること、お金は複数に分けて保管すること、部屋の鍵はこまめに施錠し、管理人の人に預けることなどの説明があった。

さらに、書類への住所や署名などの記入の説明が行われた。

授業の詳細

授業の時間割は下記のとおりである。(グループ 6)

時限	月	火	水	木	金
1 8:30- 10:00	リスニング	会話	会話	文法	文法
2 10:10- 11:40	文章読解	ライティング	文章読解	会話	リスニング
3 11:50- 13:20					
4 13:30- 15:00	地理	美術		音楽	歴史

(1)会話

週に3回。はじめは色、食べ物などの基本的なものから授業が始まったが、慣れてくるにつれ、教科書に従って2週間に1単元のペースで進んだ。1週間目は主にその単元の進出単語・熟語を勉強し、2週間目は質問文を考える、クラスメイトに実際に質問して、自分自身も答える。最後の時間にその単元の単語小テストを行う、というようなサイクルだった。長くて難しい単語も毎日の反復で覚えることができた。また、ゲームを取り入れるなど、私たちが楽しく勉強に取り組めるように努力してくれた。

(2)文章読解

週に2回。家族、国籍、好きな季節、など單元ごとに文章を読み進めていく。各単元でテキスト1~5程度まであり、だんだんと分量が増え、難しくなっていく。しかし、テキスト1で出てきた単語がテキスト2でも出てくることがあるので、難しさをさほど感じることなく、徐々に読み進めていった。文章を音読することもあったので、発音の練習にもなった。質問に対しての答え方もある程度決まっているので、「この質問にはこの答え方」という型を覚えられた。

(3)文法

週に2回。ロシア語の授業で最も難しいと思われる。ロシア語は格の変化に加え、名詞に男性形、女性形、中性形などの性がある。英語などと同様に規則があるが、不規則に変化するものもある。日本での文法説明を例文を用いて説明する授業というより、圧倒的に練習問題を解いている時間が長かったように感じる。單元ごとの理解度小テストも行われた。

(4)リスニング

週に2回。初めのところは何を言っているのか聞き取れなかったが、ロシアでロシア語に囲まれながら生活していくうちに自然と授業で先生が言っていることも聞き取れるようになっていった。基本情報が終わって、授業に慣れたころから、代表者1名が前に出て、発音された単語を書き取るということをした。代表者以外は自身のノートに書き取り、答え合わせをし、次の時間に小テストをする、というのが毎時間の流れだった。

(5)ライティング

週に1回。句読点、疑問符、感嘆符がつく文から、メモ書き、依頼文、書き置き、手紙、直接話法の書き方、間接話法の書き方、絵を見て会話文を書くなどをした。

(6)地理

週に1回。主にロシア極東の地理について学んだ。海、山、川、気候帯について学んだ。極東にしかない動物や植物についても学んだ。写真を見せながら丁寧に教えてくれた。距離や面積の数字の読み方も教えてくれた。

(7)美術

週に1回。絵の具を使って課題に沿った絵を描く。マトリョーシカ、民族衣装、伝統的な食器、置物、風景画などを描いた。木に絵付けをしたり、巨大画用紙にロシア人の学生とともに風景画を描いたり、裁縫をしたこともある。美術館にも美術の授業の一環として行った。

(8)音楽

週に1回。ロシアの様々な音楽を聴き、歌った。ロシア人ならだれでも知っているような有名な曲や、若者に人気の曲、国家なども歌った。楽器演奏も行い、大学の国際交流イベントでは授業で習った2曲を暗記し、発表した。

(9)歴史

週に1回。一番難しかった。単語も普段ほかの授業で出てくるようなものとは異なるものが多く、文章読解とは違い昔の逸話のようなものもあるため話の内容を理解するのが難しかった。そのため、先生はビデオや写真などを使って視覚的にわかりやすく教えてくれた。

授業の具体的内容および所感

すべての授業でスライドが取り入れられていた。また、授業で初めて聞く単語や私たちが理解しづらい単語を板書してくれたのでその場で調べることができた。また、複数の授業で単元が少しかぶっていたり、別の授業でやった単元がほかの授業の次の単元であったこともあり、授業内容の理解度は授業を重ねるにつれ深くなっていった。